

「平和で豊かな沖縄」へ

5/8/47



新たな基礎図を公表する予定。知事は7日、沖縄県庁

デニード知事、新たな建議書

辺野古新基地断念求める

中絶の「中止」——知事は「口、裏口で記者(観)」、中絶の本十数回50年を
あわせた「中止」がなか中絶の実現に向けた新たな建議書」を公表しました。
一方で、同年に総理政府が日本政府へ提出した「機械増強に関する建議書」では機
械化のない中止を「はるの実現」や、辻野「新機械建設の新命」田
米地位認定の根本改定、日本国憲法の理念の追求などを日本政府に求めています。
◆ 読者の感想

「——おまえは『御用間』
と認する姫様に込めるに
てこの堅苦の腰にならぬ腰
筋でまとなれしものを務め
て確認し、それを選抜するよ
たるの過程をし、からりと業
むべく今回の建議書を取
りまとめた」と語りまし
た。

卷之三

真主の中心部分を「正す
る機知の存在が沖縄機質の
「大きな障壁となつてし
る」と、米軍機の監視や
米軍のによる殺戮から基地
から派生する事件事故や爆
壘汚染が島民の安全安心を
脅かしてくると強調。刃崎
した現在においても「まだ
建設されていないう」と指摘
しています。

アシア太平洋地域の安全
保全環境に関する沖縄の軍
事的機能強化や核兵器の共
有、敵基地攻撃能力の保有
などの動きについて、「一矢憤りは10月10日より上昇」
のような考案は沖縄が沖縄
の県民から離脱した意味で階
層、鹿田文雄議員や衆議院議
員を経験した県民の平和を
希求する意図とは全く相づ
を重視したうとしている事
れるものではない」と批
評しています。